

マニユライフの投資型年金

ManuSolution

マニユソリューション

マンスリー パフォーマンス レポート 月次運用報告 2018 年 10 月

経済概況 (2018 年 10 月)

2018 年 9 月の鉱工業生産指数は前月比-1.1%、在庫は+2.3%となりました。製造工業生産予測調査によると、生産は 2018 年 10 月に前月比+6.0%の後、2018 年 11 月は同-0.8%が見込まれています。

2018 年 9 月の全国消費者物価指数 (除く生鮮食品) は前年同月比+1.0%となりました。食料およびエネルギーを除く指数は、前年同月比+0.4%となりました。2018 年 10 月の東京都区部の消費者物価指数 (除く生鮮食品) は、前年同月比+1.0%となりました。

日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しました。

特別勘定のユニット価格騰落率一覧 (2018 年 10 月 31 日現在)

	特別勘定名	ユニット価格 18/10/31現在	騰落率					設定来	設定日
			直近1ヶ月	直近3ヶ月	直近6ヶ月	1年	3年		
バランス型/ ライフスタイル・ ポートフォリオ	積極成長型 ライフスタイル・ ポートフォリオ	128.3549	-6.14%	-4.84%	-4.02%	-4.09%	3.88%	28.35%	2002/2/5
	安定成長型 ライフスタイル・ ポートフォリオ	119.1187	-3.91%	-3.36%	-3.03%	-3.69%	0.71%	19.12%	2002/2/27
	堅実成長型 ライフスタイル・ ポートフォリオ	115.0361	-1.90%	-2.10%	-2.34%	-3.18%	-1.73%	15.04%	2002/2/12
	ジャパン・バランス・アクティブ・ ファンド	140.5460	-5.80%	-4.16%	-5.77%	-5.47%	1.33%	40.55%	2003/1/24
国内株式型	日本成長株ファンド	202.6650	-13.51%	-11.05%	-13.38%	-12.28%	6.33%	102.67%	2003/1/28
世界株式型	グローバル・ファンド	259.8308	-8.94%	-6.92%	-2.88%	-2.91%	8.85%	159.83%	2003/1/23
世界債券型	ユーロ・ボンド・ファンド	119.5807	-3.77%	-3.24%	-5.96%	-6.70%	-10.80%	19.58%	2003/1/23
	グローバル・ボンド・ファンド	118.3643	-1.52%	-0.66%	-1.08%	-4.51%	-9.15%	18.36%	2003/1/21
	USショートターム・ファンド	90.7034	-0.25%	1.95%	3.39%	-0.44%	-9.88%	-9.30%	2003/1/28
債券型	元本確保型特別勘定	(該当ページにおいて、積立金額計算用利率の推移をご参照ください)							

*上表の騰落率は、それぞれの月数をさかのぼった該当月の月末日付ユニット価格に対して、当期末のユニット価格がどれくらい変動したかを計算したものです。

*ユニット価格とは、各特別勘定 1 ユニット (1 口) あたりの価格のことをいい、単位は円です。設定日におけるユニット価格は、いずれの特別勘定も 100 円です。

*投資信託を主たる投資対象とする特別勘定のユニット価格と、投資対象の投資信託の基準価額とは必ずしも一致するものではありません。

*ユニット価格は小数点第 5 位以下を切捨て、騰落率は小数点第 3 位以下を四捨五入して表示しています。

当資料は、当社の変額個人年金保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。

当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おください。

上記の表は過去の実績を示したものであり、現在または将来の運用成績・内容を保証またはあらかずのものではありません。

投資信託を主たる投資対象とする特別勘定の運用レポートには、各運用会社よりマニユライフ生命に提供される情報が掲載されますが、その部分の内容に関してはマニユライフ生命は一切の責任を負いません。

「マニユソリューション」の商品内容の詳細については、商品パンフレット、「ご契約の概要」「注意喚起情報」「重要事項のお知らせ/ご契約のしおり/約款」「特別勘定のしおり」等にてご確認ください。

6. 安定成長型バランスファンド
 ジャパン・バランス・アクティブ・ファンドの状況
 (2018年10月末現在)



特別勘定の平均資産構成比

日本株式 58.6% 日本債券 38.0% 現預金 3.4%

〈主たる投資対象となる投資信託の運用レポート〉

運用会社 マニュアルライフ・アセット・マネジメント株式会社
投資信託名 マニュアルライフ日本株ファンド (適格機関投資家専用)
 マニュアルライフ・日本債券インデックスファンド (適格機関投資家専用)
コメント (2018年10月)

【市場動向】2018年10月の日本株式市場は、NAFTA (北米自由貿易協定)再交渉の妥結を受けて上昇して始まりました。しかしその後、米国の雇用や景況感をめぐる経済指標で経済成長の加速が示されると、米長期金利が約7年ぶりの水準まで上昇、株価の割高感が意識されたことや、急激な金利上昇が米国経済に与える影響への警戒感が高まったことから、米国株式市場が反落、これに連れて日本株式市場も下落となりました。こうしたなか、米中貿易摩擦の激化懸念が強まったことや、IMF (国際通貨基金)の世界経済見通しが下方修正されたことから、世界的にリスクを回避する流れとなり、日本株式市場も下落基調を強めました。月下旬は、国内主要企業の2018年7-9月期決算発表本格化を控えるなか、先んじて始まった米主要企業の決算発表が好調な滑り出しとなり、日本株式市場が上昇に転じる場面もありましたが、その後、中国景気の減速懸念の高まりや、米主要企業の一部の決算発表で慎重な業績見通しが示されたことを受けて、世界景気の先行き不透明感が強まり、各国主要株式市場が下落、日本株式市場も調整色を強めました。月末、国内主要企業の一部で発表された業績上方修正を好感し株価は反落に転じたものの、10月の日本株式市場インデックス (TOPIX (東証株価指数) / 配当込み) は、前月末比-9.41%の下落で当月を終えました。騰落率上位は、ゴム製品、空運業、電気・ガス業、その他金融業、パルプ・紙でした。下位は、海運業、ガラス・土石製品、化学、鉄鋼、その他製品でした。10年国債利回りは、月初は米国長期金利につられ上昇したものの、それ以降はグローバルにリスクオフとなり先進国金利が低下したことなどから、前月末の+0.120%から当月末には+0.121%と概ね横ばいとなりました。

【運用概況】日本株式市場インデックス (TOPIX (東証株価指数) / 配当込み)を上回る投資成果を目指して、持続的にキャッシュフローを生み出す優良企業に、割安な株価で投資を行いました。一方、債券については引き続き国債と内外の高格付企業の発行する社債を中心に投資を行いました。

◆組入上位5業種 (マザーファンド)

業種名	組入比率
1 情報・通信業	11.01%
2 輸送用機器	10.88%
3 銀行業	9.57%
4 サービス業	8.35%
5 化学	6.65%

*比率は現物株式評価額に対する割合です。

◎種別配分

種別	組入比率
国債	81.51%
地方債	6.78%
政府保証債	2.32%
金融債	0.65%
事業債	5.34%
その他	2.11%

*比率は純資産総額に対する割合です。

◆組入上位5銘柄 (マザーファンド)

(組入銘柄数: 49 銘柄)

銘柄名	業種名	組入比率
1 三井不動産	不動産業	4.50%
2 KDDI	情報・通信業	4.28%
3 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	4.06%
4 HOYA	精密機器	3.84%
5 第一生命ホールディングス	保険業	3.26%

*比率は純資産総額に対する割合です。

◎組入上位5銘柄 (組入銘柄数: 114 銘柄)

銘柄名	種別	クーポン	償還日	組入比率
1 第123回利付国債(5年)	国債	0.100%	2020/3/20	5.24%
2 第309回利付国債(10年)	国債	1.100%	2020/6/20	3.21%
3 第148回利付国債(20年)	国債	1.500%	2034/3/20	2.65%
4 第333回利付国債(10年)	国債	0.600%	2024/3/20	2.03%
5 第326回利付国債(10年)	国債	0.700%	2022/12/20	2.03%

*比率は純資産総額に対する割合です。

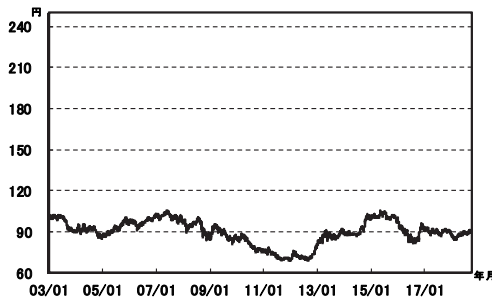
◎利回り・デュレーション・平均残存期間

最終利回り	0.19%
直接利回り	1.01%
修正デュレーション	8.94
平均残存年数	9.72年

*数値は、債券現物部分について計算しています。

7. 堅実成長型外国債券 (A)
 USショートターム・ファンドの状況 (2018年10月末現在)

〈主たる投資対象となる投資信託の運用レポート〉



特別勘定の平均資産構成比

投資信託 97.3% 現預金 2.7%

運用会社 野村アセットマネジメント株式会社
投資信託名 ノムラ米国短期インカムオープン VA (適格機関投資家専用)
純資産総額 17.7億円 (2018年10月31日現在)

ポートフォリオの内訳	
資産	純資産比
外国債券	92.4%
現金その他	7.6%
合計	100.0%

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

格付別資産配分	
資産	純資産比
外国債券	92.4%
A-1格	92.4%
その他格付	-
無格付	-
現金その他	7.6%
合計	100.0%

*格付は、格付機関の格付を採用しています。

平均残存日数	
ポートフォリオの平均残存日数	85日

騰落率	
期間	ファンド
1年	1.3%
2年	4.7%
3年	-1.6%
5年	3.0%

設定来 12.7%

設定来 = 2001年9月27日 以降

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。
 2年~5年の騰落率は年率平均(複利ベース)

当資料は、当社の変額個人年金保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

上記の表は過去の実績を示したものであり、現在または将来の運用成績・内容を保証またはあらわすものではありません。投資信託を主たる投資対象とする特別勘定の運用レポートには、各運用会社よりマニュアルライフ生命に提供される情報が掲載されますが、その部分の内容に関してはマニュアルライフ生命は一切の責任を負いません。

「マニュアルソリューション」の商品内容の詳細については、商品パンフレット、「ご契約の概要」「注意喚起情報」「重要事項のお知らせ/ご契約のしおり/約款」「特別勘定のしおり」等にてご確認ください。